

第25号

酪農とちぎ



秋の訪れ

十五夜に飾る「すすき」...

秋の七草の一つですが、あまり派手な植物ではなく、ひっそりと秋の訪れを知らせてくれる奥ゆかしさがあります。やわらかい風に入スキの揺れる風情は、残暑の中にも涼風を感じます。

記録的な猛暑、世界の祭典「アテネ五輪」、史上最多の台風上陸等の今夏も過ぎ、農作物の収穫期を迎えました。台風による影響が懸念されましたが、水稲・果樹・デントコーンとも豊作のようです。

皆様には、一時秋の農繁期となりますが、農作業事故等には充分ご注意ください。また、愛牛達も夏の疲れが蓄積されていますので、早期回復に努めて下さい。



「食品安全基本法」の対応 食品衛生法等改正さる

食品安全基本法の制定に基づき、「食の安全・安心のための政策大綱」が決定され、合わせて食品衛生法等の一部が改正となりました。組合では、すでに法改正内容についてお知らせしたところですが、ここに改めて一読願いたく紹介します。

食の安全・安心をめぐる環境

国内において、乳業の不祥事・BSE発生・食品や農作物の偽装表示・無登録農薬や食品添加物の使用など、食品に対する信頼を揺るがす事件等が相次ぎ、食品の安全・安心への要求や期待が高まっています。消費者の信頼を確保しなければ、農業・食品産業の発展は望めない状況にあります。

食品安全基本法の制定

平成十五年より「食品安全基本法」を制定・施行し、食品の安全性の確保に関する総合的な施策を推進し、食品関連事業者の食品の安全性に係る責任が法制度上も明確にされ、積極的な取組が食品の生産供給段階にも求められます。

関連法規の改正による政策体系の整備と推進

食品安全基本法の制定に対応すべく食品衛生法が一部改正されました。生乳の生産・流通段階に關連する主な改正点は、以下の通りとなります。

酪農家の第一義的責任の明確化責任を求められる範囲に、酪農家もその対象となりました。

食品衛生監視指導指針による重点監視指導

供給行程の適正措置を具体化し、国及び都道府県が監視・指導するための指針が告示され、生乳の生産・出荷段階についても、次の項目に基づき指導が導入されます。生産者団体等による、効率的な検査方法・体制の整備が求められます。健康な乳牛からの搾乳の徹底搾乳時における衛生確保の徹底搾乳後の温度管理の徹底生乳について残留抗生（抗菌）物質の検査の実施並びに食品等業者による出荷時検査の推進

「食の安全・安心のための政策

大綱」に基づく関連施策の推進
食品安全基本法の制定に基づき、農林水産省より「食の安全・安心のための政策大綱」の決定をうけ、関連法規等の改正を含めた今後の政策展開の内容が発表されました。この大綱の考え方に基づく生乳の生産・流通段階に關連する主な事項は次の通りです。

動物用医薬品の使用者による遵守事項（記録と保存等）の策定
動物用医薬品の使用基準（用法・用量・使用禁止期間等）を遵守するために、酪農家が使用内容の帳簿記載とその保存などに努める。

農薬使用基準の設定と使用基準の遵守義務化

無登録農薬の使用禁止・農薬の使用基準を厳守し、適正使用に努める。

家畜の「飼養衛生管理基準」の設定と義務化

家畜所有者が遵守すべき家畜の衛生基準を設定し義務化。

飼料の使用者による遵守事項（記録と保存等）の策定

酪農家は飼料の購入・使用の内容について記録・保存に努める。

動物由来たん白質の混入防止ガイドラインの制定

酪農家は、乳牛に魚粉などの動

物由来たん白質の給与を禁止し、動物由来たん白質を含む肥料は、その他の飼料と分離し保管。

家畜個体識別情報の報告義務
酪農家は、乳牛の耳標の装着や出生・移動の届出が義務化。

家畜排せつ物に関する管理基準の適用

家畜排せつ物の発生量、処理方法及び処理の方法別の数量について記録し、構造設備に関する基準、管理基準が定められました。

家畜の生産段階における衛生管理ガイドライン

家畜の生産段階における衛生管理ガイドラインを畜種毎に設定。

トレーサビリティシステムの導入・普及

このように、「食の安全・安心のための政策大綱」では、生産から販売までの情報の追跡・遡及を通したリスク管理、消費者と生産者・事業者の信頼関係を醸成する取

り組みとして、トレーサビリティ

システムの

導入と普及

が急務になっております。



自給飼料生産研修会開催

(平成十五年度サイレージ共励会表彰式併催)

去る七月十四日、県家畜保健衛生所において、(独)畜産草地研究所 飼料生産管理部 上席研究官 畠中哲哉氏を講師に迎え、「堆肥の現状と良質粗飼料生産のための活用法」と題し、組合員他五十名余りが参加し、研修会を開催しました。

当日は講演会に先立ち、平成十五年度(第四・五回)酪農とちぎサイレージ共励会表彰式を行いました。表彰者は別表の通りです。

受賞されました皆様おめでとうございませう。

講演の内容・要旨

堆肥をとりまく現状と飼料生産に



おける堆肥利用の基本的な考え方や適正な施用量、作物の品質や家畜の健康に及ぼす影響・対策などについて、また戻し堆肥の野菜栽培への利用等、飼料作以外での堆肥利用に関するトピックスなどを紹介されました。この研修会において、飼料生産における自給率及び飼料品質の向上、耕畜連携による堆肥の有効活用などの課題におおいに参考になったことと思います。要旨は次の通りです。

近年、高泌乳化に伴う濃厚飼料の多給や戻し堆肥の利用増によって、表の通り、肥料成分濃度が高まっています。堆肥の適正施用量について、以前は多収を得るためN成分を用いて施用量を算出していました。最近ではNやPに比べてKの含有率が高くなり、しかも飼料の質、特にK濃度が重視されることから、飼料作物が必要とするKの全量を糞尿処理物(代替率は三〇%)から供給し、

表 牛ふん尿処理物の肥料成分含有率(現物中%)

ふん尿処理物	水分	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	CaO	MgO
1984牛ふん堆肥	72.8	0.57	0.52	0.64	0.61	0.23
2000牛ふん堆肥	54.8	0.86	1.04	1.08	1.36	0.45

平成15年度サイレージ共励会表彰者

第4回牧草サイレージの部 H15.9.24受付 出品点数35点

順位	所属支所名	農家名	表彰区分	備考
1	栃木県南支所	町井 覚	最優秀賞	75.6点
2	那須高原支所	松村 吉晃	優秀賞	75点以上
3	那須高原支所	那須高原今牧場	優良賞	70~75点
4	栃木県南支所	大島 浩	努力賞	65~70点
5	那須高原支所	摩庭 正		
6	宇都宮支所	(有)木村牧場		
計		6名		

第5回トウモロコシサイレージの部 H16.1.28受付 出品点数58点

順位	所属支所名	農家名	表彰区分	備考
1	栃木県南支所	大太刀 逸郎	最優秀賞	92.0点
2	栃木県南支所	市川 則之	優秀賞	90点以上
3	栃木県南支所	羽石 智昭		
4	栃木県南支所	上野 勝永		
5	那須高原支所	印南 博	優良賞	85~90点
6	栃木県南支所	鷺谷 英一		
7	那須高原支所	桃井 一嘉		
8	栃木県南支所	小倉 通保	優良賞	85~90点
9	栃木県南支所	星野 守良		
10	栃木県南支所	高山 一良		
11	宇都宮支所	箕輪 長二	努力賞	80~85点
12	宇都宮支所	荒井 康夫		
13	栃木県南支所	川又 隆夫		
14	栃木県南支所	杉野 昇		
15	栃木県南支所	松山 秀夫		
16	栃木県南支所	山口 文男		
計		16名		



最優秀賞 大太刀 逸郎氏(南河内町)

乳牛の乾乳後期において陽イオンであるK濃度の高い飼料の給与はCaの代謝に悪影響を及ぼし、乳熱

不足するNとPを化学肥料で補給するように変わってきました。土壌中のKは作物によって過剰吸収されませんが、Ca及びMgの吸収はKの吸収と拮抗するので、土壌中のK濃度が高いほどそれらの吸収は低下します。



最優秀賞 町井 覚氏(茂木町)

は特に、飼料中の養分含量そのものに加え、養分間のバランスが問題とされてきていますので、家畜

や起立不能等の疾病を引き起こす要因となりますので、ご注意下さい。飼料作物の品質は、家畜に採食されて評価されるものです。従って、家畜による評価基準が示されてはじめて品質目標が得られます。最近では



サイドからの評価基準作りへのアプローチが望まれています。

これからは、土壌診断を行って飼料畑土壌の性状を科学的に把握し、かつ自給飼料の成分分析を行うことをお勧めいたします。

近年、高齢化及び規模拡大に伴う労働力不足、輸入粗飼料の利便性等から、飼料作物の作付面積の減少傾向

支所別全体研修会を開催

組織活動の一環として、支所別全体研修会を各支所毎に開催いたしました。那須高原支所・栃木県南支所ともに天候に恵まれ、全体研修会並びにアトラクションが行なわれ、親睦・交流を深めました。尚、宇都宮支所の全体研修会は、「酪農セミナー」(詳細は前号)を開催しており、既にご紹介しておりますので、省略させて頂きます。

那須高原支所

「第3回野外パーティー」

八月四日、那須町共同利用模範牧場で恒例の野外パーティーを開催しました。今年で三回目を迎える野外パーティーですが年々参加

向が続いております。経営体質の強化が求められる中、飼料自給率向上による生産コスト低減と経営の安定化、畜産環境問題への適切な対応を図ることが一層重要な課題となつてきていますので、組合員の皆様の生産基盤等の強化を図って頂きたいと思えます。



者が増え、支所管内の参加戸数は二二一戸、参加者数五二〇名でした。牧場の草地で支部ごとに設けられたバーベキューテントの中には、焼肉を囲んで、家族や地域の仲間と懇親を深めました。相馬副組合長より酪農情勢についてご挨拶があり、那須だいすき牛乳」による乾杯の後、余興が始まりました。今回はピエロに扮した地元芸人による創作風船配りが子



どもに大好評でしたが、「ミルク・マスカラス」と名乗る謎の仮面男に挑戦する牛乳早飲み大会は、大爆笑の新企画となりました。また、関係団体のご協力によりお楽しみ抽選会も盛会の内に終了できました。

栃木県南支所

「全体研修会開催」

七月十日(土)、二宮町運動公園にて、組合員と家族ら百十二名、菊池副組合長をはじめ関係者等の合計百四十七名が参加し、上野清・支所活動推進協議会長の挨拶で始まりました。

午前中、地区対抗ソ



フットボール大会が行われ、六チームが二リーグに分かれて、それぞれ優勝を目指して競い、激戦の結果「芳賀・真岡」と「河内南部・下都賀」の二チームが見事に優勝しました。

汗流した後は、木陰にビニールシートを敷き、優勝した「芳賀・真岡」チームの主将・水沼秀男さんの発声により、那須だいすき牛乳」で乾杯し、菊池副組合長、関係者も輪の中に入り、楽しいひと時を過ごしました。

また、ビンゴゲーム大会を催し、おおいに盛り上がり、その後「河内南部・下都賀」チームの主将・坂本寛治さんの万歳三唱で交流会がお開きとなりました。

三回目になるこの交流会を通じて組合員の交流もさらに深まりましたが、来年も多数のご参加を頂けるように、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



東西南北

那須高原支所

女性会塩原・西那須野支部 視察研修会

女性会塩原・西那須野支部は、八月九日松原きのえ支部長を始め二十六名の支部員が参加し、会津方面への視察研修を行いました。

研修目的は支部員の交流と親睦で、バス中での支部長の挨拶から始まり、塔のへつり・喜多方ラーメンの工場を見学しました。昼食



後には桃狩りを楽しみ、家へのお土産に旬の味覚を箱に詰めました。酪農を営みながら家事を行なっている忙しさの中で、多くの参加を得られ、支部員同士の交流・親睦が図れ目的が達成出来ました。

宇都宮支所

支所活動推進協議会、三地域酪農組合事業「牛舎並びに周辺環境整備」実施

今年度も、支所協議会並びに地域酪農組合事業の一貫として、例年通り牛舎環境整備事業（巡回審査）を下記の通り実施致しました。組合員の皆様方は常日頃、牛舎並びにその周辺の環境整備、美化に努められており、回を重ねる毎に



その努力が伺われました。また、青年部役員の皆様にも審査を実施頂きまして誠



に有難うございました。今後、環境整備、美化にはご努力され、いつでも訪問者を

歓迎できる環境を保たれますよう期待しております。

八月三日：南那須、宇河、今市地区

八月六日：矢板、塩谷地区

八月十日：烏山地区

八月十一日：高根沢地区

八月十七日、二十日：小川、馬頭地区

栃木県南支所

土上平牧場視察

青年部（河内南部・下都賀支部）は、八月十九日に栃木県土上平放牧場を視察しました。

当牧場は、昭和四十四年に放牧が始まり、県酪連が管理運営してきましたが、本年より管理を酪農とちぎに委託され、ふれあい牧場に対応しています。

当青年部では、施設及び預託牛の放牧視察を行なったものです。当日は晴天に恵まれ一面すっきり見わたすことができ、放牧状況を確認しながら、八木沢牧場長より概況と育成状況の説明を受け、元気で跳びはねる放牧牛を見て、良い環境での成長ぶりがうかがえました。

その後、広大な草地と関東平野を眺めてのバーベキューを楽しみ、子どもたちも見事な放牧地をみて将来の夢に胸を膨らませていました。



部課だより

生乳販売部

生乳生産が増産基調に！

四月以降、生乳生産量は前年を上回り、七月においては、猛暑にもかかわらず前年比一〇二・八%、七月までの累計でも一〇二・二%と前年を大きく上回る生産となっております。当初の予測では、微増に留まるのではと予測しておりましたが、飼養管理技術、暑熱対策の実践、規模拡大等により増加基調で推移しています。

一年で最も生乳が逼迫する九月となりましたが、乳業メーカーには十分に供給できる状況にあります。

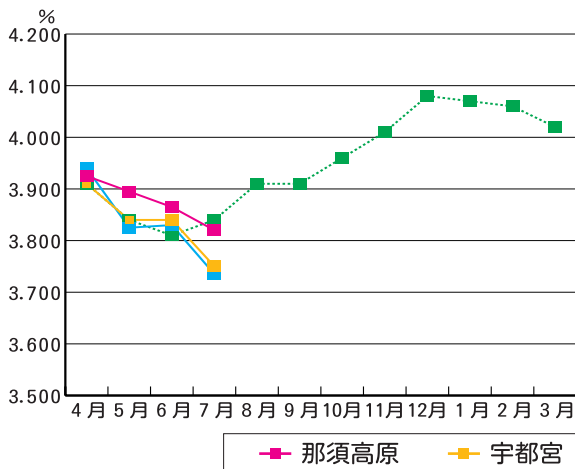
都府県においては七月も一・五%減と相変わらず減少傾向となりましたが、関東においては〇・三%増と栃木県の生産が好調なこと

から前年を上回っており、八月以降についても堅調な生産が見込ま

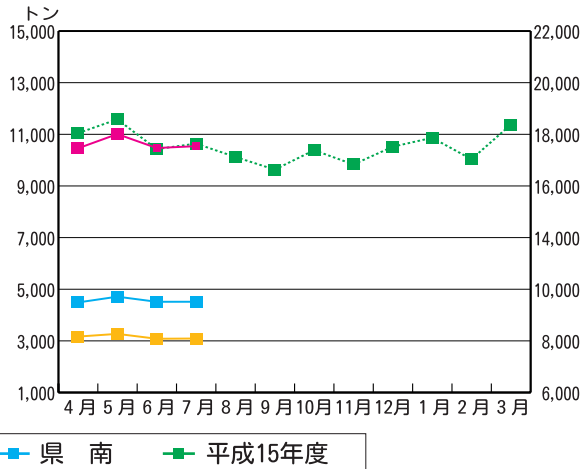
れます。

一方、用途別販売実績は、前年

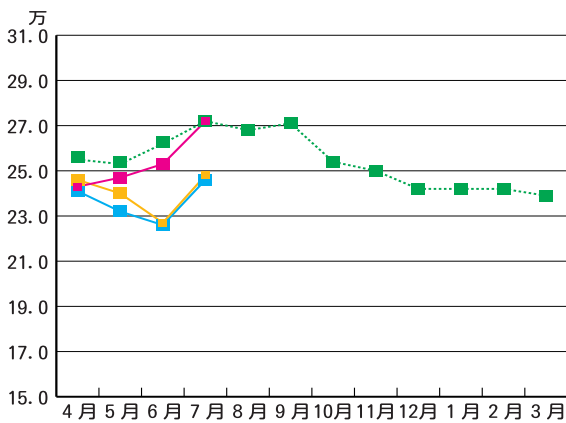
◆ 脂肪率の推移



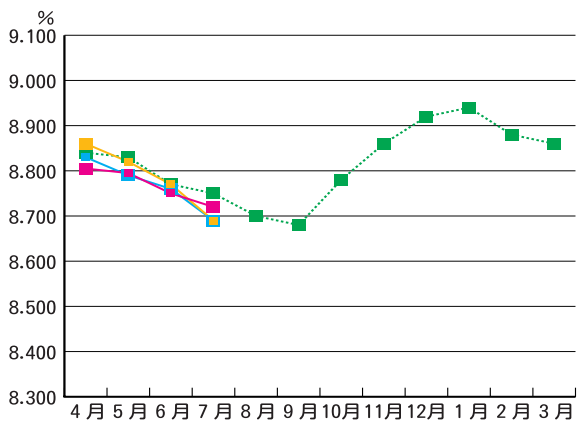
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



の冷夏に対して今年は気温の上昇から大幅な飲用需要の伸びが期待されましたが、暑すぎて茶系飲料に消費がシフトしたのか小幅な伸び(三・一%)に留まりました。また、加工乳、乳飲料については減少傾向が続いていましたが一二・八%増となりました。特定乳製品向は飲用の伸びにより六・六%減少となりましたが、懸念される脱粉在庫の減少には至っておりません。

乳質は、無脂固形分率・脂肪率については、六月までほぼ前年並の成績となっておりましたが、猛暑による影響か、七月は脂肪率が〇・〇五%、無脂固形分率が〇・〇四%昨年実績を下回っております。しかしながら、細胞数については前年を一万強向上する好成績となりました。

七月迄の乳量及び乳質成績は上記のとおりです。



酪農部

オランダ派遣農業研修に参加して

栃木県立真岡北陵高等学校

農業機械科三年 國母 智範

私は、七月八日から七月二十八日までの三週間「オランダ派遣農業研修」に参加し、オランダの大規模な農業を肌で感じる事ができ、とても良い経験をする事ができました。

しかし、出発前は、「ホストファミリーとちゃんと会話できるのか？」この事がとても不安でしたが、何回かの語学研修で少し自分の英語力に自信がつきました。出発当日、少しの不安と大きな期待を胸に私は飛び立ちました。初めての空の旅は十二時間と長く、なれないためとても疲れました。空港に着くと、私は、



初めて見るオランダの景色の凄さに感動しました。ホテルで一泊し、次の日のホストファミリーとの歓



迎会のあいさつの練習をしながら寝床につきました。そして、ホストファミリーとの歓迎会の日が来

ました。私は、BLAUM家にお世話になりました。初めは、緊張していても温かく迎えてくれました。BLAUM家は、「主人のEgbertさん、奥さんのMarieさんの二人ですが、同じ敷地内に二軒、家が建っており、一軒は長女のTasさん、夫のGeertさん、その娘のMarie、息子のBernoyanの四大家族と、もう一軒は、次女のThesiaさんと彼氏のMartinさん、それと犬のYordi-Charonが暮らしていました。とても家族が多く次女の友達もよく遊びにきていたので、名前を覚えるのが大変でした。食事の時は、Yanさん夫婦が出かけたりすると長女の家で食事をしたり、次女の家で食事をしたりと大変でした。Yanさんの家では成牛七〇頭、馬三〇頭、土地が四八ヘクタールとい

う大規模な酪農経営をしていました。牛はYanさん夫婦が管理しています。馬は、Thesiaさんが管理しています。Thesiaさんは、乗馬の先生で、毎日乗馬のレッスンを忙しそうでした。Tasさんは、夫婦でレストラン経営をしているので時々しか会えませんでした。私が、手伝った仕事は、搾乳、牛の追い込みなどでした。搾乳は、家の手伝いでたまにやっているので手際よく仕事ができるました。牛の追い込みは大変でした。なかなか歩かない牛もいるし、歩きながら途中で糞を落としていく牛もいました。でも、この経験はオランダの大規模な農業を一番肌で感じる事ができたと思います。毎日忙しいせいか二週間のホームステイもあっという間に終わってしまいました。

本当の家族のように接してくれたYan家の皆さん、本当にお世話になりました。この経験を今後の高校生活に生かしていきたいと思います。最後になりましたが、今までご指導頂いた先生方や関係者の方々、そして最後まで応援してくれた両親に感謝いたします。本当にありがとうございました。

8月ホクレン初妊牛市場成績

(単位：頭、千円(税込))

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~350					
				351~400	401~450	451~500	501~550	551以上	
豊富	8月19日	243	465	1	20	61	118	39	4
十勝	8月24日	418	511	1	8	48	107	173	81
釧路	8月25日	285	469	6	23	60	110	80	6
根室	8月26日	462	495	2	13	51	193	166	37
北見	8月27日	317	476	11	21	65	104	96	20
合計		1,725	489	21	85	285	632	554	148
前月		1,538	496	22	66	195	557	440	258
前年同月		2,056	494	15	66	299	716	960	

家畜市場成績

平成16年8月

(単位：円(税込))

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高最低		平均
				最高	最低	
西那須野	ホルス雄	125	-	64,050	2,100	36,097
	F1雄	90	-	177,450	64,050	125,498
	F1雌	95	-	94,500	17,850	68,869
館林	ホルス雄	5	64	54,000	40,000	48,200
	F1雄	9	68	185,000	100,000	146,222
	F1雌	14	70	123,000	77,000	107,643





理事会だより

七月度理事会

報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 七月分生産者支払乳価について
- (三) 那須高原CS入札結果について

協議事項

- (一) 六月度及び第一四半期事業実績について
- (二) 理事及び監事の報酬について
- (三) リース契約について
- (四) 第十二回全日本ホルスタイン共進会の負担金納入について
- (五) 専門委員会分担について

八月度理事会

報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 八月分生産者支払乳価について
- (三) 資本造成について
- (四) 税務調査について

協議事項

- (一) 七月度事業実績について
- (二) 資金貸付について
- (三) 那須高原支所・CS設計及び入札について
- (四) 本所外壁・空調施設改修工事について

お知らせ

祝・ご結婚

壬生町の杉野昇さんの後継者砂織さんが、七月十八日に新郎健司さんを迎えられご結婚されました。未永くお幸せに。

宇都宮市の松本昭彦さん（松本文彦氏長男）が、九月五日に新婦文枝さんとご結婚されました。未永くお幸せに。

「全酪連東京支所乳用種 経産肥育牛枝肉共励会」開催

全酪連東京支所主催の枝肉共励会が以下の通り開催されます。奮って出品・研修会に参加下されますよう、お願い致します。

開催日時

平成十六年十月十六日(土)
十時三十分～十四時

開催場所（研修会）

（枝肉審査・評価）
筑西食肉衛生組合食肉センター
（表彰）

全日本農協畜産公社

対象牛 乳用種経産肥育牛

推定生体重七〇〇キロ以上
枝肉重量二八〇キロ以上

出品予定頭数 四十頭

申込方法

支所・事業所にお問合せ下さい。

古畳由来の稲わら利用に注意

古畳に由来する稲ワラが飼料用として販売・使用される例があります。このような稲わらには、ディルドリン、DDT、BHC等の現在使用が禁止されている有機塩素系殺虫剤が含まれている場合がありますので、以下の点についてご注意願います。

- 一、古畳を飼料・敷料に用いる場合は必ず安全性の確認をする。
- 二、飼料用に販売・譲渡する場合、飼料安全法に基づく飼料製造業者の届出が必要。
- 三、有害物質が指導基準値を超えている場合は、販売・使用しない。
- 四、稲わらを購入する場合は、来歴や品質管理方法について販売業者に確認する。

牛群審査及び体型調査実施

平成十六年度（後期）牛群審査が以下の日程にて実施されます。受検希望される方は、各支所・事業所までお早めにお申込み下さい。審査予定期間

平成十六年十一月九日(火)～十一月十八日(木)延べ十日間

牛群審査と併せて、後代検定材料娘牛の体型調査が実施されます。対象となる方は、ご協力をお願い致します。

パソコン一年生 バックアップ

バックアップとは、データのコピーをどこか別な場所に持つておく、いつでも復旧できる状態を作ることです。例えば、パソコンを買ったときに「リカバリCD」が付属してきますが、これもトラブルがあったときに工場出荷時に戻すバックアップの一つです。バックアップ法は多種多様ですが、今回は例のようなCDによるバックアップを紹介します。

CDの性質は、容量は650、700MB 書換不可（CD RWは可）非常に安価

といったことが挙げられます。この条件から、加工頻度が低く、ある程度容量があるデータに適しています。具体的には写真・音声・動画ファイル、確定した過去のデータ、例に挙げたようなプログラムなどが考えられます。逆に適さないデータは、使いまわしや、更新をする文書・表計算・データベースファイルが考えられます。データは皆さんが苦労して作成した財産です。財産を守る保険がバックアップです。万が一のために保険はしっかりかけましょう。

